

# 学校だより

へんしゅうふれんらくさき\*  
\*編集部連絡先\*

〒257-0025 はだのしおちあい  
秦野市落合500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

<http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>



○今月号は「地域との交流」に関する内容でお送りいたします♪

## 「地域とともに・・・」

サポート・スタディグループ 山口 知江

サポート・スタディグループ地域連携係では、今年度も地域交流を積極的に企画してきました。五十嵐商店や本町公民館での児童生徒の作品展示や、ボランティアの皆さんとの交流、ピースキャンドルナイトへの作品参加など、ほかにも様々な活動がありましたが、ここでは2点についてご紹介いたします。

9/17東地区福祉ふれあいまつり作品展示



○「東地区福祉ふれあいまつり」では児童生徒の作品展示と、今年度初めてE高等部の生徒が職業自立の授業で製作した「すのこ」と手芸製品の販売を、自分たちでおこないました。地域の皆様とやりとりしながら自分たちが作った製品を販売するという、とても貴重な経験ができました。

○「秦野市 市民の日」では児童生徒の作品展示や学校紹介パネルの展示、ボランティア募集案内、そしてB課程やF未広、E高等部の児童生徒が育てたひまわりの種の配布をおこないました。会場のカルチャーパークには、たくさんの方の来場がありましたが、本校のブースにも多くの方が足をとめてくださり、興味をもって見学をしていただいたり、ご質問をされたりする様子がありました。

11/3 はだのし しみん ひ  
秦野市 市民の日



これからも交流をとおして地域とつながっていきたいと思います。

E

学校の近くに畑を借りて始まった農園芸班の作業学習、早いもので4年目を迎えています。

始まった当初から地域の方に農業指導講師をお願いし、作業の指導はもとより、たい肥の搬入からトラクターでの耕運、害獣対策や草刈りなどと、いろいろな場面で支援していただいています。

生徒との交流という点では、苗の植えつけ指導、さつまいもなどの収穫と1年を通して一緒にいろいろな作業をしています。作業の中で、講師の方から声をかけてもらったり、名前を呼んでももらったりして一緒に作業をしているところを見ると、とても生徒の表情も良く、親近感を感じながら作業をしているようです。引き続き、講師の方たちに数多く来校していただき、いっそう交流が深まっていけば…と思っています。また、たい肥を使わせていただいているご縁で、スクールバスで牧場に行き、日頃のお礼を伝えました。牧場では、たい肥の製造工程を見学したり、乳牛の飼育の様子を見たりしました。地域の方との交流も深まり、そして、牛とも触れあえ、気持ちよく楽しい活動となりました。

生徒と作業に行くときに、畑で作業している方やすれ違う方に挨拶をすることを続けてきました。昨年、猪にさつまいもを食べられてしまい収穫ができなかったのですが、今年は無事に収穫することができました。収穫の日、畑にいと、近所の農家の方に「今年はさつまいもが採れたな。」と通りすがりに声をかけていただきました。また別の方は、ソラマメを作ることが上手な方で、本校の畑で育てているソラマメを見ていたようで「今年はうまくいったな。」と声をかけてくださり、栽培方法についても教えていただきました。いろいろなところで地域の方に見守られていることに気がつき、とてもありがたいと感じた出来事でした。少しずつ地域に農園芸班の活動が根付き、交流が広がってきているように感じています。

F



F末広から、2つの取り組みを紹介します。

1つ目は、11月18日土曜日におこなわれた末広小PTA主催のイベント「みんなのすえひろまつり～小学校で親と子と地域がふれあう楽しいおまつり～」に秦野支援学校F末広として出展したことです。たくさんの地域の方が集まるこのイベントでは、秦野支援学校の紹介コーナーや、フライングディスクやペダルローラーなどの楽しく体を動かせる体験コーナーを体育館に設置し、たくさんの子どもやご家族で大賑わいとなりました。土曜日だったので、ご家族と一緒におまつりを訪れてくれたF末広の児童生徒もいて、楽しい時間を過ごすことができました。

2つ目は、中学部の取り組みです。総合や作業の時間に、秦野市役所や駅連絡所、公民館、ぱれっと・はだの(秦野市地域生活支援センター)に設置した回収ボックスからペットボトルキャップを回収し、きれいに洗って社会福祉協議会に提出することで、世界の子どもにワクチンを届ける学習をおこなっています。日ごろから街の中を歩き、活動する中で、自分たちの住む街の様子を知り、そこで働く人や行き交う人々とあいさつをし、地域の一員として活動を積み重ねています。



G

12月4日(月) 秦野支援学校の中学部と、東中学校特別支援学級の学校間交流をおこないました。秦野支援学校にG部門が創設され、5年目にして初めての対面交流となります。以前からコロナ禍でも、オンラインや作品での交流は続けてきましたが、直接、秦野市に暮らす同年代の友だちとの交流は、とても有意義なものとなりました。当日は、東中学校に到着すると生徒たちが出迎えて、あたたかい歓迎を受けました。しっぽとりゲームではG部門の生徒たちは、東中学校の生徒との合同チームを結成し、広い体育館中を走り回り、追いかけたり追いかけられたりを楽しみました。最後はみんなでパラバルーンでリラックス♪同年代の友だちとの時間を楽しみました。楽しい時間はあっという間で、名残惜しくもお別れの時間となりました。東中の友だちに「また来てね♥」と言ってもらい、秦野支援学校の生徒たちも笑顔で「バイバイ」ができました。

秦野市に暮らす同年代の友だちどうし、今後もたくさんの交流を積み重ね、お互いの良さを知り、地域の人との関わりを深めていって欲しいです。

小学部と東小学校との学校間交流は現在進行中です。小学部で作った作品を東小学校の校内に展示しています。東小学校の作品は近日、G部門の廊下前に展示予定です。ぜひご覧ください。

